



演習林活用プロジェクト ～新月伐採～

協力 (株)井上工務店 (株)飛騨五木
実施日 平成27年12月11日
場所 岐阜県高山市清見町
対象 環境科学科 2年生
課題研究班

目的



森林（演習林）の伐採から、地域の人たちの手による運搬・製材・加工・販売という“川上から川下まで”の流れを自分たちの目で確認。自分たちが育んだ木材が地域で活用されていくことの尊さと重要性、そしてこれからの地域の在り方や自身の在り方を学ぶプロジェクトです。

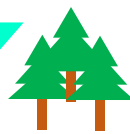
工程



ちいきで愛され、旅する五木

飛騨五木
H I E T A G O B O K U

事前調査

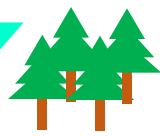


今回、柱材に用いる樹木を選木するため、測稈・輪尺を用いて樹高・胸高直径を計測しました。

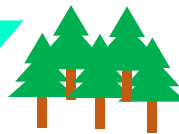
柱材は30cm×30cmの寸法で製材が行われるため、最低でも胸高直径が40cmないとはいけません。

5本選木し、井上工務店様に実際に見て頂いた結果、2本のヒノキを柱材として利用して頂けることになった。

鋸入れ式の様子(H27.12.11.)



樹齢100年の木をつかう



本校演習林は、長年より諸先輩方が間伐や枝打ちなど地道な管理を行ってきました。今回このような機会に巡り合うことができたのも、先輩方の管理があってのことです。このプロジェクトを通して、私たちも飛騨の森を未来に繋げていきたい。

